

ISO 11056 : 2021

Sensory analysis – Methodology – Magnitude estimation method

官能分析 – 方法論 – マグニチュード推定法

1. 規格の概要

本文書は、感覚的属性の評価にマグニチュード推定を適用する方法を規定するものである。指定された方法論は、評価者のトレーニング、マグニチュード推定値の取得、およびその統計的解釈をカバーしている。

2. 発行状況等

年月	検討状況
1999年12月	初版発行
2013年2月	追補1発行
2015年3月	追補2発行
2021年5月	第2版発行、追補1及び追補2廃止

注：改訂版及び／又は追補の発行までの段階

(1) 新業務項目提案 (NP) ※→ (2) 作業原案 (WD) ※→ (3) 委員会原案 (CD) ※
→ (4) 国際規格案 (DIS) → (5) 最終国際規格案 (FDIS) ※→ 発行

※(1)、(2)、(3)及び(5)は省略可。

3. 規格の構成（仮訳）

まえがき

序文

- 1 適用範囲
- 2 引用規格
- 3 用語及び定義
- 4 原則
- 5 一般的な試験条件
- 6 評価者の選択及び訓練
 - 6.1 選択及び訓練のための一般的条件
 - 6.2 マグニチュード推定法特有の訓練
- 7 評価者の数
 - 7.1 一般

7.2	分析及び調査のパネル
7.3	消費者パネル
8	手順
8.1	サンプルの提示
8.2	外部標準サンプル
8.3	サンプルの提示順序
8.4	マグニチュード推定法
9	データの分析
9.1	データ分析法の選択
9.2	生の結果の提示
9.3	製品差の見積もり
9.4	回帰
9.5	スケール変更法
10	試験報告
附属書A (参考)	データ分析例
附属書B (参考)	質問票モデル
	参考文献